



| 建設候補地 | 旧角田女子高等学校跡地  所在地：角田字中島上250 敷地面積：39,802㎡ 用途地域：第一種住居専用地域 | 角田中学校  所在地：角田字牛館1-2 敷地面積：27,973㎡ 用途地域：第二種住居専用地域 | 北角田中学校  所在地：江尻字前原50 敷地面積：28,617㎡ 用途地域：都市計画区域外 |
|--|--|---|---|
| 立地等 (Location)  | ◎敷地面積が広く、余裕を持った自由度の高い学校施設（校舎・屋内運動場等）のレイアウトが可能で、スクールバスの発着場や駐輪場等も容易に確保できる ▲これまでの文教地区から少し離れた立地となり、一体性が損なわれる | ◎小・中学校、高等学校、市民センター、図書館等が隣接しており、文教地区としての一体性が確保できる ▲敷地面積が狭隘で、余裕を持った学校施設のレイアウトやスクールバスの発着場の確保が難しい ▲旧角田城の二の丸跡に建設されており、建替えの際は、文化財の発掘調査が必要となる（最大3ヵ月） | ▲敷地面積が狭隘で、余裕を持った学校施設のレイアウトやスクールバスの発着場の確保が難しい ▲DID（人口集中地区）から北側へ大きく外れており、他の候補地と比べ、より多くのスクールバスの運行が必要となる ▲学校敷地内に市道が通っており、安全上の懸念がある |
| 経済性 (Cost Performance)  | ▲更地のため、新たに校舎・屋内運動場等を建設する必要がある ▲県有地のため用地取得費が発生する ◎角田中学校敷地との土地交換により、取得費を抑えられる可能性がある ▲土地交換にあたっては、既存校舎・屋内運動場等の除却が必要となる ◎仮設校舎の設置が不要 | ▲老朽化した校舎・屋内運動場等の建替えが必要となる ▲建替えにあたっては、既存校舎・屋内運動場等の除却が必要となる ▲仮設校舎の設置が必要となり、設置場所（校庭等）によっては、生徒の教育活動が制限される ▲仮設校舎の設置は全額一般財源負担 | ▲老朽化した屋内運動場等の建替えが必要となる ◎校舎は平成21年度竣工のため、比較的状态も良く、そのまま転用可能 ▲校舎はキャパシティ不足のため、増改築や仮設校舎の設置が必要となる ▲他の候補地と比べ、スクールバスの運行経費がかかり増しとなる |
| 防災面 (Disaster risk)  | ▲阿武隈川が比較的近く、校舎周辺の洪水浸水想定が3.0m未満となっており、校舎の2階以上が指定緊急避難場所となっている | ◎旧角田城の二の丸跡（高台）に建設されており、校舎周辺の浸水想定が0.5m未満で、令和元年度東日本台風において校舎周辺部は浸水せず | ▲阿武隈川の堤防沿いに位置し、校舎周辺の洪水浸水想定が5.0m未満となっており、校舎の3階以上が指定緊急避難場所となっている |
| その他 (Others) | □通学距離（参考） 鳩原字上土浮：13.0km 高倉字熊野田：11.2km | □通学距離（参考） 鳩原字上土浮：13.3km 高倉字熊野田：10.5km | □通学距離（参考） 小田字割石：14.8km 島田字池田：15.2km |